

# はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL924-2194 FAX924-2195

## 厳しい冬から暖かい春「年間の管理予定」を作ろう!

三月の公園



### 平成24年度「みどり講習・相談会」

次回 4月8日(日)午前・午後開催  
場所 麓山の杜「杜のエントランス」

テーマ 「記念樹の育て方初歩講座」  
時間 午前 10:30 午後 13:00

なお、講習会で緑に関する相談は樹木  
医がお答えします(参加は誰でも可)

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

### ガーデニング ワンポイント

### 寒い時期適期の作業「剪定・寒肥・植替え…」は急いで!

まだ寒い日もありますが、陽射しは明るくなり春の到来が感じられてきました。木々の芽も動き始め特にボタンは色も変わりふっくらとしてきました。これからは芽を吹き花咲く春の息吹を感じられる季節となります。

【水やり】 植え替え時には必要です。乾燥が続く時にはその後もあげます。水不足により良い花を見る事が出来ない場合があります。

【肥料】 まだ寒肥をあたえていない時には発酵油粕などの速効性有機質肥料を早くあげます。

【病害虫防除】 退治しにくいカイガラムシなどは冬季に行う石灰硫黄合剤やマシン油乳剤散布が効果があります。晴天が続くような無風の時に散布します。ただ倍率など散布方法に注意が必要です。時期が遅いと薬害が出やすくなるので一般の人は早めに行います。

【剪定】 落葉樹の剪定は早めに済ませます。大きな切り口には癒合剤を塗り少しでも腐朽の進行を防ぎます。常緑広葉樹はもう少し暖くなるまで待ちます。マツは古葉を取ったりするもみ上げといわれる作業が可能です。同時にこみあっている枝は間引きをします。すっきりとした樹形に仕上げる事が出来ます。

【植え替え】 常緑樹は初旬は少し早いです。針葉樹、落葉樹は適しています。多くの樹種で適しているのが彼岸前後です。植え替えの場合は土壌改良が必要になります。近い将来、植え替えを予定している場合はこの時期に根回しを行うと活着がうまくいきます。春まきの草花や球根、苗などは気温に注意して行います。

| 記念樹交付日 | みどり講習・相談会   | 交付予定「第2日曜日」                             |
|--------|-------------|---|
| 4月8日   | 記念樹の育て方初歩講座 | ②5/13 ③6/10 ④9/9 ⑤10/14<br>⑥11/11 ⑦3/10 |

【常緑樹の除染】 「落葉処理」だけでも1マイクロシーベルトは下がる！

常緑針葉樹や広葉樹は昨年の事故の時にも葉を繁らせていたわけですから葉、幹全体に付着しています。また一年が過ぎようとしている今、根元にも流れ落ちてきています。樹木に付着したセシウムなどを少なくするには取り去るしかありません。今回は常緑樹を中心に説明いたします。

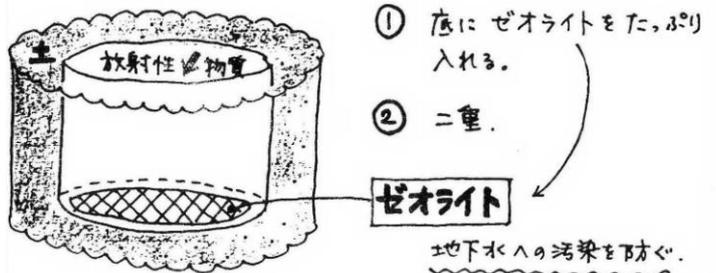
剪定などで付着している部分の除去が一番、作業は安全な服装で実施します。(ゴム手袋, マスク, ゴーグル, ヤッケなど) 常緑樹は春(4月~5月)は思い切った強剪定にも耐えますので、多くの枝を剪定する事が可能です。特にサツキツツジなどは根元から切ってしまうとその後には剪定された手前から芽を吹き出します。ただし100%総てとは保証は出来ませんし樹形が乱れる事は覚悟してください。残した樹皮にも付着していますので、その樹種によっては粗皮や苔を削り取ります。マツやヒバなどの粗皮を削り取るとセシウムなどが半減するなどの効果があります。ただし表皮までは傷つけないようにします。削り取る事ができない樹種はブラシや高圧洗浄機を使って綺麗に洗い流します。その後に表土や落ち葉や雑草などを片付けます。剪定枝や落ち葉などは郡山市のゴミの処分方法にしたがって処分します。落ち葉を処分するだけで市内でも線量のわりと高い地域では1マイクロ程さがります。その位に手軽に行えて効果が高い除染方法です。しかしサツキツツジなどの刈込の中は普段でも掃除が大変な場所です。そんな時に便利なのがブローアなどの風で飛ばし出す機械です。強い風を吹き付けると表土も飛ばす事が出来ます。ただし隣近所まで飛ばす事が無いようにしてください。各自が落ち葉などを片付け処分すると空間線量はその分だけでも下がります。地道な努力が必要なのが除染ではないでしょうか。

芝生が高い場合「剥ぎとり」又は「深め刈りの繰り返し」でセシウム減らす

次に芝生について話したいと思います。昨年来、芝生は特に厄介者扱いにされてきました。別に芝生が放射性物質を引き寄せたわけではありません。葉が緻密に繁っている為に表面積も多くサッチと言われる刈りカスがあるため、そこに留まっていると思われる。その芝生を再生させながら除染を考えるなら、深めに刈ってその繰り返しにより線量を下げしていく事は可能です。また売られている芝生のように根まで切り撤去すれば早くに線量を下げることが出来ます。その土の深さは25ミリ以内にとどめます。その後の肥培管理にもよりますが夏には剥ぎ取られた下から芝生が緑の状態に戻ります。ただし剥ぎ取った芝生は処理できませんので、自分で敷地内に刈り置きとなる事を承知して下さい。

家庭でできる除染花壇

除染で困っているのは、仮置き場。庭の隅に図のような除染花壇を作り削った土等入れるーコンポスト式ー花壇には、ヒマワリ、菜の花(雑草も可)など植えてセシウムを吸収させる。ゼオライトを敷くのはセシウムの吸収力が強いので下へ浸透させないため。最後に花の季節終わったらゴミとして焼却場へ出す。郡山市の仮置き場できたら汚染土も搬出...



「わが家の除染」麓山の杜ホール講演会資料より